

大学・高専機能強化支援事業（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）  
実施状況報告書

道定年度	令和5年度	学校コード	F127310107938	設置等組織名	工学部（工学科）
大学名	桃山学院大学	設置区分	私立	事業計画名	桃山学院大学 工学部（仮称）の新設
学校種	大学	都道府県	大阪府		

1. フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1	<p>フェーズ1（令和5年度から令和6年度）では、令和5年度に①各種調査に基づくカリキュラム等の検討、②検討体制の整備、令和6年度に③広報活動、④自定体制に向けた財務基盤強化等、⑤設置認可申請準備等の業務を行う予定である。</p> <p>&lt;令和5年度&gt;</p> <p>①では、新設する学部学科の学際領域・カリキュラム等について、連携する地域の自治体・企業等へのヒアリングだけでなく、地域ニーズ（出口・入口）、成長分野の将来性に関する調査・検討も行う。また、②では、新学部設置に伴う事務局体制の構築、産官学連携した事業実施委員会等の設置、基幹教員や実務家教員の確保のための渉外活動を行う。</p> <p>&lt;令和6年度&gt;</p> <p>③では、十分な学生確保を行うため、高校生に対する進学ニーズ調査、必要な広報物の製作やメディアへの展開等を行う。④では、ファンドレイザーの雇用により、戦略的な寄付金獲得への足場固めを行うとともに、共同・受託研究関係の構築のための渉外活動を展開するとともに、学内の寄付金獲得のための組織整備に関する検討を行う。⑤では、令和8年度学部設置に向け、文部科学省等へ令和6年度末までに遅滞なく申請を行うための組織的体制を整える。</p> <p>&lt;令和5年度&gt;</p> <p>1-①令和5年9月 新学部設置に伴う事務局体制の構築 1-②令和5年9月 連携する地域の自治体・企業等へのヒアリング実施 1-③令和5年10月 地域ニーズ（出口・入口）、成長分野の将来性に関する調査・検討実施 1-④令和6年1月 寄付金獲得に向けたファンドレイザーの雇用 1-⑤令和6年2月 基幹教員や実務家教員の確保のための渉外活動の実施 1-⑥令和6年3月 産官学連携した事業実施委員会等の設置</p> <p>&lt;令和6年度&gt;</p> <p>1-①令和6年4月 共同・受託研究関係の構築のための渉外活動を展開 1-②令和6年5月 施設整備計画の検討 1-③令和6年5月 必要設備・機材の検討 1-④令和6年5月 工学部設置のための新校舎検討開始 1-⑤令和6年8月 高校生に対する進学ニーズ調査の実施（～令和7年1月） 1-⑥令和6年8月 広報物の製作やメディアへの展開等の実施</p>	<p>フェーズ1（令和5年度から令和6年度）では、令和5年度に①各種調査に基づくカリキュラム等の検討、②検討体制の整備、令和6年度に③広報活動、④自定体制に向けた財務基盤強化等、⑤設置認可申請準備等の業務を行う予定である。</p> <p>&lt;令和5年度&gt;</p> <p>①では、新設する学部学科の学際領域・カリキュラム等について、連携する地域の自治体・企業等へのヒアリングだけでなく、地域ニーズ（出口・入口）、成長分野の将来性に関する調査・検討も行う。また、②では、新学部設置に伴う事務局体制の構築、産官学連携した事業実施委員会等の設置、基幹教員や実務家教員の確保のための渉外活動を行う。</p> <p>&lt;令和6年度&gt;</p> <p>③では、十分な学生確保を行うため、高校生に対する進学ニーズ調査、必要な広報物の製作やメディアへの展開等を行う。④では、ファンドレイザーの雇用により、戦略的な寄付金獲得への足場固めを行うとともに、共同・受託研究関係の構築のための渉外活動を展開するとともに、学内の寄付金獲得のための組織整備に関する検討を行う。⑤では、令和8年度学部設置に向け、文部科学省等へ令和6年度末までに遅滞なく申請を行うための組織的体制を整える。</p> <p>&lt;令和5年度&gt;</p> <p>1-①令和5年9月 新学部設置に伴う事務局体制の構築 1-②令和5年9月 連携する地域の自治体・企業等へのヒアリング実施 1-③令和5年10月 地域ニーズ（出口・入口）、成長分野の将来性に関する調査・検討実施 1-④令和6年1月 寄付金獲得に向けたファンドレイザーの雇用 1-⑤令和6年2月 基幹教員や実務家教員の確保のための渉外活動の実施 1-⑥令和6年3月 産官学連携した事業実施委員会等の設置</p> <p>&lt;令和6年度&gt;</p> <p>1-①令和6年4月 共同・受託研究関係の構築のための渉外活動を展開 1-②令和6年5月 施設整備計画の検討 1-③令和6年5月 必要設備・機材の検討 1-④令和6年5月 工学部設置のための新校舎検討開始 1-⑤令和6年8月 高校生に対する進学ニーズ調査の実施（～令和7年1月） 1-⑥令和6年8月 広報物の製作やメディアへの展開等の実施</p>	<p>R5年度自己評価</p> <p>【3】計画を十分に実施している。</p> <p>R6年度自己評価</p> <p>【3】計画を十分に実施している。</p>	
	フェーズ1 前編し			<p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p>
	認可申請又は届出	令和7年3月 工学部 地域連携DX学科（仮称）設置認可申請予定	令和7年3月 工学部 工学科設置認可申請	
フェーズ1 後編し			<p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p>	
	<p>本構想は、本学初の工学部を設置し、60有余年の歴史を持つ本学既存学部の教育内容である人文・社会科学と融合する教育・研究を推進し、その成果として得られる総合的な地域の価値向上に活用し、みずから、地域の持続性に役立つ人材を養成することを目的としている。このために、「ハイパーソフツウェア（特許領域）」となる新校舎を建設し、実験・実習や社会実装等に關した教育研究施設を整備する。不足する教場については、既存設備のリノベーション工事をし、必要十分な施設を整備する計画である。施設・設備等については、フェーズ1における調査をもとにカリキュラムの精査と必要設備・機材の洗い出しを行う。</p> <p>2-①令和6年4月 施設整備計画の検討 2-②令和6年4月 必要設備・機材の検討 2-③令和7年8月 工学部設置のための新校舎建設着工 2-④令和8年3月 実験機器や什器、ICT機器等の整備</p>		<p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p>	
開設又は定員増	令和8年4月 工学部 地域連携DX学科（仮称）開設予定（入学生員160人、編入学生員なし、工学関係）			
フェーズ1 後編し			<p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p>	
	<p>フェーズ3（令和8年度から令和11年度）では、自動化に向けた深化を図り、①新設学部の適正な運営、②新設学部の積極的な広報展開と就職支援体制の整備、③財務基盤の強化を行う。</p> <p>①では、新設学部の施設・設備等の保守運用を開始することになり、本事業の経費の適正な管理を行う。②では、安定的な定員確保のための入社・広範採用による専任教員を増強するとともに、女子学生比率の引き上げを目指す。連携校の開拓等を行う。また、完成年度に卒業生が望む進路選択ができるよう、キャリアセンターによる理系学生を積極採用する企業との関係構築を行う。③では、ファンドレイザー機能を更に強化すると同時に、連携企業等を増加させ、受託研究等の外部資金獲得に努める。</p> <p>3-①令和8年4月 新設学部開設に伴う組織的体制の構築 3-②令和8年4月 連携校の開拓等に向けた専任教員の確保 3-③令和8年4月 就職採用に向けた企業との関係構築 3-④令和8年4月 外部資金獲得に向けた連携企業等の開拓</p>		<p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p> <p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p>	
				<p>○年度自己評価</p> <p>リストから選択してください。</p>
定員減又は学部等の廃止	令和7年12月 既存学部学科の議員に係る届出予定（入学生員▲160人、編入学生員なし）			

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	桃山学院大学
-------------	-------	-----	--------

## 2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 私立大学等経常費補助金において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

## 3.申請要件の取組状況

令和5年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	<p>高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。</p> <p>確認を受けている <input checked="" type="checkbox"/> チェック 確認の対象に該当しない <input type="checkbox"/> チェック</p>	
②	<p>十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
③	<p>産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の枠組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
④	<p>特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑤	<p>計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑥	<p>特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑦	<p>社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑦	<p>学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑧	<p>入学定員が20名以上増加する計画であること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑨	<p>事業計画の進定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）</p> <p>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑨	<p>大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	
⑩	<p>フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。</p> <p>計画通りに進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> チェック</p>	

フォローアップ対象年度	令和5年度	大学名	桃山学院大学
-------------	-------	-----	--------

②	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	■ チェック
③	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めることと、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の二に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	■ チェック
④	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	■ チェック

#### 4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和5年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

##### 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（関係開設科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施について、本学には、チームでの課題解決型授業（PBL）を学びの中心に据え、70校を超える企業・自治体・団体等と産官学連携した実践教育を特色とするビジネスデザイン学部があり、既に産官学連携基盤を有している。工学部においても、この基盤を水平展開し、気候変動問題等の地球規模課題や地域の社会課題解決に取り組みPBLを複数開講する計画である。また、サイバー空間とフィジカル空間を融合させたデジタル技術も有効活用し、本学が加盟する大学コンソーシアム大阪における他大学との連携や、日本聖公会の関係学校とのPBL等の科目の共同実施や単位互換制度等を設ける計画である。さらに、本学は既に世界26の国と地域、64大学と国際交流の提携を行っており、この基盤により関連分野に強みを持つ海外大学と連携し、支援期間中に英語でのオンライン合同研究発表会、交換留学プログラムの整備・実施等を進める計画である。	企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施について、本学ビジネスデザイン学部の産官学連携基盤にもとづきPBLのみならず、他大学の先行事例調査も実施したうえで、工学部のかきょうらにおいても、社会課題解決に取り組みPBL等を複数開講する計画している。具体的な連携企業については、R6年度に開拓を進める予定である。また、他大学との連携による科目の共同実施に関して、データサイエンス関連科目を中心に、他大学の開講状況を調査した。大学コンソーシアム大阪における他大学との連携や、海外協定校との単位互換制度等の設計については、R6年度に検討を行う予定である。	

##### 【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
①本構想に係る工学部では入学者選抜における科目を見直し、数学と理科等の追加を予定している。②女子学生の確保と女性デジタル人材の育成に向けて、女子枠等を設けるほか、新校舎の建設等キャンパスの充実を図る。また、キャリアパスの説明等の就職支援も、志願者数増に向けた諸施策を実施する。③本学は桃山学院大学教育を2025年度に大学統合し、桃山学院大学人間教育学部を開校し、地域の初等中等教育段階の学校との連携を強化する予定であり、工学部も算数、理科、情報等の出張授業の実施等を行う。④本法人は、選年度よりデジタル人材育成のカリキュラムを実施しており、成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業にも申請済みで、今年度も地域の社会人向けのデジタル・グリーン分野の中心ト教育を実施する計画である。⑤留学生の受入れ強化に向け、本学は私費外国人留學生学内奨学金制度を設けており、今後は日本語教育とキャリア支援を強化する。	①入学者選抜における科目の見直しについては、予定通り数学と理科等を追加する方向で、R6年度に制度設計を行う予定である。②女子学生の確保（志願者数増）に向けた他大学の取り組みを調査するとともに、他大学の施設を調査した。R5年度に実施した調査に基づき、女子学生確保の視点を取り入れ入試制度やキャリア形成支援の設計および新校舎の基本計画はR6年度に策定する予定である。③地域の初等中等教育段階の学校との連携を強化については、予定通り算数、理科、情報等の出張授業の実施等を行う方向で、R6年度に制度設計を行う予定である。④成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業の採択を受け、R5年度もアットコムグループ社をはじめとする企業と連携し、地域の社会人向けの中心ト教育（DX/GX推進）データ育成プログラムを実施した。⑤日本または母国の日系企業での就職支援一環として、留学生向け日本語教育を見直し、R5年度より留学生全員に対して卒業までにJLPT/N1の取得を支援するプログラムの運営を開始した。加えて、キャリア形成支援を促進するべく、地域の外国人生徒のサポートや災害時の外国人支援スタッフ等、留学生の特質をいかしつつ、地域に根差したボランティア活動への参加を促すとともに関連研修を実施した。	

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	桃山学院大学
-------------	-------	-----	--------

## 2. 申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iii) 私立大学等経常費補助金 II において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額措置を受けた大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
------	--

## 3. 申請要件の取組状況

令和6年度の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	<p>高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。</p>					
	<table border="1"> <tr> <td>確認を受けている</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> <tr> <td>確認の対象に該当しない</td> <td><input type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック	確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック	
確認を受けている	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
確認の対象に該当しない	<input type="checkbox"/> チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な資保証の枠組みを活用するなど出口における資保証にも十分留意することが重要。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	事業計画の進定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑨	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					
⑩	フェーズ3の助成期間終了時まで、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table border="1"> <tr> <td>計画通りに進んでいる</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> チェック</td> </tr> </table>	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック			
計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	桃山学院大学
-------------	-------	-----	--------

②	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。	
	計画通りに進んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
③	選定された大学は、公要領に定める申請要件を満たす高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文科科学大臣認可）六（2）に基づき機構が実施する会議に参加すること。	
	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	<input checked="" type="checkbox"/> チェック
④	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	
	認定を受けておらず申請する意向もない	<input checked="" type="checkbox"/> チェック

#### 4. 審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

##### 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携関係科目等に限らない）

- チェック a. 企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b. 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c. 関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施について、本学には、チームでの課題解決型授業（PBL）を学びの中心に据え、70%を超える企業・自治体・団体等と産官学連携した実践教育を特色とするビジネスデザイン学部があり、既に産官学連携基盤を有している。工学部においても、この基盤を水平展開し、気候変動問題等の地球規模課題や地域の社会課題解決に取り組みPBLを複数展開する計画である。また、サイバー空間とフィジカル空間を融合させたデジタル技術も有効活用し、本学が加盟する大学コンソーシアム大阪における他大学との連携や、日本聖公会の関係学校とのPBL等の科目の共同実施や単位互換制度等を設ける計画である。さらに、本学は既に世界26の国と地域、64大学と国際交流の提携を行っており、この基盤により関連分野に強みを持つ海外大学と連携し、支援期間中に英語でのオンライン合同研究発表会、交換留学プログラムの整備・実施等を進める計画である。	企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施について、今後重要になってくる技術の社会受容性に関して、総合知を必要とするタイアログを通して地域の自治体や企業・団体との共創を推進できるリーダーシップやコミュニケーション能力を修得するための科目群として、産学官共創演習科目を8科目の開講を計画している。これらの科目の中で、連携先として、本学で求人または就職実績のある南大阪地域の製造業、同エリア商工会議所会員の製造業、本学が位置する大阪府和泉市にある工業団地「テクノステージ和泉」入居企業、コオプ教育の経験を有する企業等に協力要請を行い、企業インターンシップ受け入れ承諾企業25社を含め、38社より連携の承諾を得ている。 また、本学和泉キャンパスの徒歩圏内には、地方独立行政法人大阪産業技術研究所の和泉センターが設置されている。同研究所は、総合的な技術支援を通して企業を支え、地域産業の発展に貢献することを基本理念とする公設民営研究機関で、教育研究連携に関する協定を締結している。さらに、本学と同じ南大阪に立地する大阪公立大学工学部・工学研究科との連携・協力に関する包括協定を締結し、キャリアパスとしての大学院進学に関する講演をはじめとした交流を行う計画である。 海外大学との連携について、本学は目的やレベルに合わせて選べる約30種の海外留学プログラムを提供している。本学工学部生は、他の国・地域の言語、文化、価値観を学び、国際性を身に付けるため、海外研修に参加しプログラムを修了したものに「学外研修」（教養教育科目）の単位を認定する計画である。	

##### 【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a. 入学者選抜における科目の見直し
- チェック b. 女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c. 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d. 社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- チェック e. 留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
①本構想に係る工学部では入学者選抜における科目を見直し、数学と理科等の追加を予定している。②女子学生の確保と女性デジタル人材の育成に向けて、女子枠等を設けるほか、新校舎の建設等キャンパスの充実を図る。また、キャリアパスの説明等の就職支援もを行い、志願者数増に向けた施策を実施する。③本学は桃山学院教育大学を2025年度に大学統合し、桃山学院大学人間教育学部を開設し、地域の初等中等教育段階の学校との連携を強化する予定であり、工学部も算数、理科、情報等の出張授業の実施等を行う。④本学には、過去年度よりデジタル人材育成のカリキュラム教育を実施しており、成長分野における即戦力人材輩出に向けリカレント教育推進事業にも申請済みで、今年度も地域の社会人向けのデジタル・グリーン分野のカリキュラム教育を実施する計画である。⑤留学生の受入れ強化に向け、本学は私費外国人留学生学内奨学金制度を設けており、今後は日本語教育とキャリア支援を強化する。	①本構想に係る工学部の設置に伴い入学者選抜における科目を見直し、数学、物理、化学を追加した。②女子学生の確保と女性デジタル人材の育成に向けて、女子高等学校との高大連携制度の導入を進めるとともに、女子更衣室や女子トイレ、多様な交流を生み出すラーニング・コモンズ等を設けた新校舎の整備計画を策定した。③地域の初等中等教育段階の学校との連携を強化に向け、工学部就任予定教員による工学分野説明会や出張授業を開始している。④地域の社会人向けのリカレント教育については、現場実践型のプログラムとしてリニューアルすることし、制度設計を進めている。その他、工学部の教育リソースを活用した社会人向けプログラムについては7年度に検討を行う予定である。⑤日本または母国の日系企業での就職支援一環として、R5年度より留学生全員に対して運営を開始した、卒業までにJLPT/N1の取得を支援するプログラムを継続実施した。加えて、地域の外国人生活者のサポートや災害時の外国人支援スタッフ等、留学生の特質をいかしつつ、地域に根差したボランティア活動への参加を促すとともに関連研修を実施した。	







大学名	桃山学院大学
-----	--------

### 3.大学（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	
大区分	小区分	項目	単位																				
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1690	1690	1960																	
		入学者数	人	1752	1706	2227																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***	***																	
		入学者数	人	***	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,690	1,690	1,960																	
		入学者数(B)	人	1,752	1,706	2,227																	
		入学定員充足率 (B/A)	倍	1.04	1.01	1.14																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	6560	6760	7840																	
		編入学定員	人	0	0	0																	
		在籍者数(D)	人	6814	6972	8116																	
		編入学者数	人	29	16	19																	
		収容定員充足率 (D/C)	倍	1.04	1.03	1.04																	

### 4.外部資金の状況（全学）

年度			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況			選定-5年	選定-4年	選定-3年	選定-2年	選定-1年	選定													
項目	単位																				
外部資金獲得額	千円		53,037	50,896	97,837	53,698	68,871	75,732	153,539												

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間における各年度の外部資金獲得額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の平均) (E)	千円	58,536
本事業による助成金の額(F)	千円	1,870,000
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	105,286

#### 特記事項

「3.大学（学士課程）の状況」の収容定員等の編入学定員0人とは、若干名を意味している。